

デマンド交通システムで 高齢者などの移動をサポート

地域と企業でつくる持続可能な公共交通

乗り合い送迎サービス「チョイソコ」は、地方などで進む公共交通網の縮小や高齢化に伴う免許返納などで日常の移動が困難な「移動弱者」や

「買い物難民」が社会問題化していることを受けて、同社のナビゲーション



乗技術や位置情報解析、ルート生成技術を生かして、2018年に開発した。25年12月時点で全国90エリア以上で展開している。

自治体とともに実施した。さらに、デジタルツールを苦手とする高齢者でも予約ができるように郵送による会員登録や電話

予約に対応するため、自

前のコールセンターを設置し、誰もが使いやすい仕組みを構築した。

チョイソコのシステム

は、行政・住民・地元企業が地域とともに作り上げる包括的で持続可能な

公共交通の仕組みに発展した。また、地元の民間企業が「エリアスポンサー」による協賛を得るこ

とで持続可能性につながっている。

各地の運営となる地域企業、とくに自動車ディ

ラーは自治体と連携

し、地域交通の課題解決に取り組む。各地で生まれた機能やサービス設計の工夫は共有する場を設け、そこで得た知見は全国での提案に生かしている。

一方で、移動手段としてだけでなく、移動の目的となる「コト」を併せて提供することも重視。

高齢者の健康増進につながるウォーキングイベントなどの「コトづくり」

を自治体やスポンサーと連携して展開し、地域のQOL（生活の質）向上

にも貢献する。

移動を起点とし、自治

る。



アイシン

地を選び、停留所候補地の選定や車両サイズ、制度設計などを

各地の運営となる地域企業、とくに自動車ディ

ラーは自治体と連携

【受賞者コメント】CSP大賞という栄えある賞を賜り、心より感謝申し上げます。チョイソコは、公共交通の縮小や高齢化といった社会課題に向き合い、自治体・地域企業・住民の皆様との共創により、地域に最適な移動の仕組みを構築してきました。単なる移動手段の提供にとどまらず、外出を促す「コトづくり」の取組を通じ、地域活性化とQOL向上への貢献を目指しています。本受賞を励みに、持続可能な公共交通の新たなスタンダード創出に挑戦し続けます。